



第3章 高齢者福祉計画

施策Ⅰ 高齢者の積極的な社会参加

(1) 生きがいきづくり活動等の支援の充実

①老人クラブ活動への支援

老人クラブは、今後の地域社会の中で重要な役割を担う組織であり、高齢者の生きがいきづくりや健康づくり、奉仕活動等の社会活動を推進していくうえで、積極的な役割が期待されます。その役割を果たすために老人クラブの自主性を最大限に尊重しつつ、老人クラブ連合会、単位老人クラブと連携を図りながら、老人クラブ活動を支援します。

●老人クラブ活動の状況

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
ク ラ ブ 数	67 クラブ	64 クラブ	61 クラブ
加 入 者 数	2,788 人	2,563 人	2,395 人
60 歳以上人口	25,289 人	25,381 人	25,419 人
加 入 率	11.0%	10.1%	9.4%

※各年度末現在（平成 26 年度は 10 月末現在）。

- 単位老人クラブの友愛訪問活動の普及・啓発に努めます。
- 老人クラブ連合会には、地域の高齢者活動の中心的な役割も期待し、その活動を支援します。

②敬老会（式）の開催

敬老会（式）を開催し、高齢者同士がお互いの長寿と健康をお祝いするとともに、高齢者が集い、交流する機会を設けます。

●敬老会の開催状況

	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	開催 地区等	参加者数	開催 地区等	参加者数	開催 地区等	参加者数
能 代 地 域	式 典	174 人	式 典	250 人	式 典	200 人
	3 地区	154 人	3 地区	227 人	4 地区	307 人
二ツ井地域	10 地区	924 人	10 地区	837 人	10 地区	792 人

※各年度末現在（平成 26 年度は 10 月末現在）。

- 能代地域、二ツ井地域の対象年齢や地区敬老会の支援方法を統一します。
- 敬老会の名称について見直しを検討します。

③青空デイサービス事業の実施【※地域支援事業】

一人暮らし高齢者等に比較的軽易な農作業を体験してもらい、閉じこもりを防止し、生きがいと健康づくりや交流の場を提供する青空デイサービス事業を実施します。

●青空デイサービスの実施状況

	平成 24 年度			平成 25 年度			平成 26 年度		
	実施回数	会員数	延べ参加者数	実施回数	会員数	延べ参加者数	実施回数	会員数	延べ参加者数
能 代地域	10 回	27 人	157 人	9 回	28 人	162 人	11 回	25 人	221 人
二ツ井地域	9 回	19 人	132 人	10 回	18 人	157 人	8 回	16 人	98 人

※各年度末現在（平成 26 年度は 10 月末現在）。

- 既存の農地等を利用しながら、実施団体や指導者、参加者の輪を広げ、市民の自主的な活動を促進します。

④地域福祉活動補助事業

ボランティア団体などが実施する「在宅福祉の普及・向上に資する事業」「健康・生きがいづくりの推進に資する事業」「ボランティア活動の活発化に資する事業」に対し、福祉基金を財源として補助金を交付します。

●地域福祉活動補助事業の実施状況

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
交付団体数	7 団体	7 団体	7 団体
交 付 額	2,010 千円	2,041 千円	2,343 千円

※各年度末現在（平成 26 年度は 10 月末現在）。

- 事業の利用を促進します。

(2) 生涯学習の充実

「生涯学習の場」や「地域づくり」の拠点として、高齢者施設の利用を促進します。また、公民館、体育館等における寿大学、シルバースポーツの日交流会などの様々な事業の推進を支援するほか、サークル、老人クラブ等の勉強会等へ講師を派遣するなど、高齢者の学習意欲の向上に努めます。(一部地域支援事業として実施)

●主な生涯学習関連事業の実施状況

	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数
寿大学 (能代地域)	9 回	1,390 人	9 回	1,113 人	5 回	965 人
松寿大学 (ニツ井地域)	5 回	614 人	5 回	634 人	2 回	250 人
趣味講座	29 回	918 人	30 回	963 人	21 回	639 人
社会参加活動講演会	1 回	227 人	1 回	156 人	1 回	274 人
健康づくりスポーツ大会	1 回	780 人	1 回	765 人	1 回	710 人
高齢者芸能発表の集い	1 回	800 人	1 回	730 人	1 回	720 人
いきいきふれ愛の集い	1 回	538 人	1 回	552 人	1 回	534 人
笑いと健康づくり特別講演会	—	—	1 回	552 人	1 回	534 人

※各年度末現在（平成 26 年度は 10 月末現在）。

- 生涯学習事業の継続と内容やメニューについて周知を図るとともに、より多くの高齢者の参加促進に努めます。

（３）高齢者就業の支援

シルバー人材センターは高齢者が地域社会の活動と密接な連携を保ちながら、豊かな経験と能力を生かし、相互協力のもと、働くことを通じて「社会参加」「生きがいの増進」に寄与することを目的として設立され、会員の自主性・主体性を最大限に発揮させながら、各種事業を推進し、高年齢者の就業機会の提供を行っています。

また、「団塊の世代」が労働市場からの引退過程に入っていることから、就業先の拡充確保が求められます。

また、公共職業安定所等の関係機関と連絡をとりながら高齢者の就労支援に努めます。

●シルバー人材センターの運営状況

		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
登録会員数		353 人	347 人	355 人
	男 性	283 人	277 人	280 人
	女 性	70 人	70 人	75 人
助 成 額		8,000 千円	8,000 千円	8,000 千円

※各年度末現在（平成 26 年度は 10 月末現在）。

- 高齢者と就労機会とのマッチング機能を確保し、高齢者の生きがい活動の充実を図るため、今後もシルバー人材センターへの助成と運営支援を行っていきます。

（４）高齢者が社会参加できる取り組みの検討

地域において元気な高齢者が、就労・家事などのほか、自治会・町内会などの地域活動の担い手として、また、老人クラブや自主グループなどで活躍しています。

高齢化がさらに進むことが想定される中、今後、高齢者がこれまで培ってきた知識や経験を活かして、社会参加する環境づくりが大きな課題となってきます。

老人クラブの友愛訪問活動や生きがいと健康づくり事業、地域支え合い高齢者等見守り事業などを通じた活動、ボランティアポイント制度などによるボランティア活動等先進事例を参考に施策を検討するほか、活躍を求める高齢者が、積極的に社会参加できる環境づくりについて検討を進めます。

施策Ⅱ 自立生活の支援

（１）在宅生活を続けるための支援の充実等

①住宅改修費の助成

移動に不安のある要介護認定を受けた高齢者が、住み慣れた家庭でいつまでも安心して暮らし続けるために、住居を改造する場合に費用の一部を助成します。

●住宅改修費の助成状況

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
件 数	5 件	7 件	2 件
助 成 額	502 千円	200 千円	230 千円

※各年度末現在（平成 26 年度は 10 月末現在）。

○ 在宅生活の継続や介護予防につながるよう、制度を維持します。

②軽度生活援助サービスの実施

自立した生活を支援するため、シルバー人材センター等を活用し、一人暮らし高齢者等に日常生活上の軽易な援助を行います。

●軽度生活援助サービスの利用状況

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
利 用 者 数	2,089 人	2,098 人	1,833 人
利用券利用枚数	15,449 千円	13,821 千円	6,873 千円

※各年度末現在（平成 26 年度は 10 月末現在）。

○ 高齢者の自立した生活を支援するため、制度を維持します。

③緊急通報装置貸与事業・ふれあい安心電話事業

一人暮らし高齢者等の急病等緊急時に、迅速かつ適切な対応が図れるよう電話回線を利用した緊急通報装置を貸与します。

●緊急通報装置貸与の利用状況

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
利 用 者 数	451 人	411 人	407 人
通 報 件 数	400 件	371 件	155 件
うち緊急	13 件	10 件	5 件

※各年度末現在（平成 26 年度は 10 月末現在）。

また、ふれあいコールを行い、安否確認をするとともに、生活不安解消のための相談に応じます。

●ふれあいコールの利用状況（平成 25 年度まで能代地域のみ）

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
利 用 者 数	344 人	330 人	407 人
ふれあいコール数	14,721 回	14,648 回	5,532 回

※各年度末現在（平成 26 年度は 10 月末現在）。

- 高齢者の安否確認、生活不安の解消のために、制度を維持します。

④訪問理容サービス

在宅の寝たきり等で理髪店に行けない高齢者の衛生管理のため、理容師を派遣して理髪を行います。

●訪問理容サービスの利用状況

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
利 用 者 数	112 人	110 人	75 人
利用券利用枚数	332 枚	322 枚	90 枚
利 用 金 額	1,095,600 円	1,062,600 円	297,000 円

※各年度末現在（平成 26 年度は 10 月末現在）。

⑤高齢者の外出支援事業

一般の公共交通機関を利用することが困難な在宅の寝たきりなどの高齢者を、移送車両により送迎します。

●高齢者外出支援事業の利用状況（二ツ井地域のみ）

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
延べ利用者数	1,100 人	1,082 人	624 人

※各年度末現在（平成 26 年度は 10 月末現在）。

- 二ツ井地域のための事業であり、利用者条件の見直しや一部負担等について検討します。

⑥家族介護用品支給事業【※地域支援事業】

おむつ使用者を介護する家族に、おむつ等の購入費の全部又は一部を助成します。

●家族介護用品支給事業の利用状況

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
利 用 者 数	1,089 人	1,198 人	1,122 人
利用券利用枚数	8,841 枚	9,096 枚	5,308 枚

※各年度末現在（平成 26 年度は 10 月末現在）。

- 家族の負担軽減のため、制度を維持します。

⑦徘徊高齢者家族支援サービス事業【※地域支援事業】

徘徊探知機能を有した機器を、家族が購入する場合に、その初期費用を助成します。（初期費用：機器代、加入手数料。※使用料は、利用者負担。）

●徘徊高齢者家族支援サービス事業の利用状況

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
利 用 者 数	0 件	0 件	0 件
助 成 金 額	0 円	0 円	0 円

※各年度末現在（平成 26 年度は 10 月末現在）。

- 利用者数が減っており、事業の周知に努めるとともに、認知症対策とあわせて、事業のあり方について引き続き検討します。

⑧食の自立支援事業及び地域自立生活支援事業（配食サービス）【※地域支援事業】

一人暮らし世帯等で調理が困難な高齢者を対象に、栄養改善指導と安否確認を兼ねて週3回夕食を宅配します。

●食の自立支援事業及び地域自立生活支援事業の利用状況

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
利 用 実 人 数	133 人	119 人	119 人
延 配 食 数	15,151 食	13,899 食	8,880 食

※各年度末現在（平成 26 年度は 10 月末現在）。

- 介護予防・日常生活支援総合事業への移行に向けた検討を進めます。

⑨はり・きゅう・マッサージ施術費助成事業

高齢者（65 歳以上）の健康の保持と増進を図るため、助成券を交付し、はり・きゅう・マッサージ施術費を助成します。

●はり・きゅう・マッサージ施術費助成事業の利用状況

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
利 用 者 数	219 人	259 人	208 人
利 用 枚 数	783 枚	862 枚	455 枚
助 成 額	626,400 円	689,600 円	364,000 円

※各年度末現在（平成 26 年度は 10 月末現在）。

- 健康の保持、閉じこもりの防止などの介護予防の効果、利用者のニーズを検証しながら、事業のあり方について検討します。

⑩元気・交流 200 円バス事業

高齢者が市内の路線バスを上限 200 円で乗車できるパスを発行し、高齢者の外出を支援します。

●パスの交付状況

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
交 付 者 数	2,617 人	3,689 人	3,852 人
交 付 率	13.2%	18.4%	18.9%

※各年度末現在（平成 26 年度は 10 月末現在）。

- 地域の交通事情を勘案し、事業を検証するとともに、継続について検討します。

⑪百歳長寿祝事業

市内に10年以上居住し、満100歳を迎えた方の誕生日に訪問し、お祝い状と記念品を贈呈します。

●百歳長寿祝事業の実施状況

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業対象者数	9人	17人	14人

※各年度末現在（平成26年度は10月末現在）。

- 地域の高齢者の長寿をお祝いするため、制度を維持します。

⑫高齢者のみの世帯等の除雪支援

高齢者のみの世帯において高齢者が、積雪により外出に支障をきたしたり、除雪の負担が大きくなならないよう、除雪作業への支援や、除雪ボランティアへの支援を行います。

●軽度生活援助サービスにおける除雪の利用状況

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
延べ利用枚数	5,943枚	4,003枚	0枚

※各年度末現在（平成26年度は10月末現在）。

●地域福祉活動補助事業のうち雪対策支援事業

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
助成金額	28,093円	34,456円	300,000円(予算)

※各年度末現在（平成26年度は10月末現在）。

- 除雪作業への支援や、除雪ボランティアへの支援について制度を維持します。

⑬その他の生活支援事業の実施・検討

高齢化の進展により、地域や家庭における援助や家族介護機能が低下してきています。このため、高齢者の生活支援に対する要望も、除雪や草刈りなどの作業のほか、家事援助や通院、買い物といった外出支援など、日常生活全般にわたり多様化しています。

今回の介護保険制度の改正で、地域支援事業について見直しが図られ、介護予防・日常生活支援総合事業による生活支援サービス等が充実化されております。これにより、多様な主体による多様なサービスを提供することができます。今後、こうした地域の実情を把握し、サービスの主体となる地域資源の開発が必要となることから、地域ニーズにあったサービスの提供や再編成の検討を進めます。

(2) 福祉施設等の整備の推進等

①養護老人ホーム

指定管理者が管理運営している「養護老人ホーム松籟荘」と一部事務組合の「養護老人ホームやまもと」（三種町）の2施設があります。また、秋田市の養護老人ホーム（盲）「松峰園」等にも能代市の方が入所しています。

家庭、居住環境や経済的理由により、在宅生活が困難な方が入所していますが、入所者が高齢化するにつれて身体機能が低下する場合もあり、こうした入所者にも対応できる施設機能が求められています。

入所者にとっては、施設が生活の本拠となるため、利用者の生活習慣やニーズを適切に把握する必要があります。

●養護老人ホーム措置人員の状況

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
松 籟 荘	70 人	67 人	65 人
能 代 市	64 人	61 人	59 人
市 外	6 人	6 人	6 人
松 峰 園（秋田市）	2 人	1 人	1 人
やまもと（三種町）	4 人	3 人	3 人
聖ヨゼフホーム（御所市）	0 人	0 人	1 人

※各年度末現在（平成 26 年度は 10 月末現在）。

- 入所判定委員会の専門的・客観的な意見を参考に、入所の可否及び入所順位を決定します。
- 生活管理指導短期宿泊事業（ショーツステイ）の受け入れ先としても活用します。
- 指定管理者制度により運営している松籟荘の管理運営について指導・監督に努めます。

②軽費老人ホーム（ケアハウス）

二ツ井地域に 1 施設があり、特別養護老人ホームに併設されています。

●軽費老人ホームの入居状況

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
入 居 者 数	13 人	13 人	13 人
定 員 数	15 人	15 人	15 人
入 居 率	86.6%	86.6%	86.6%

※各年度末現在（平成 26 年度は 10 月末現在）。

③有料老人ホーム

高齢者が入居し、入浴、排せつ、食事の介護、食事の提供、洗濯、掃除等の家事又は健康管理などのサービス提供を受ける施設です。

民間事業者による有料老人ホームの整備が進んでいます。

●有料老人ホームの整備状況

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
開施設数（累計）	2（7）	1（8）	0（8）
定員数	20(134)	23(157)	0(157)

※各年度末現在（平成 26 年度は 10 月末現在）。

④老人憩の家（白濤亭）

高齢者の憩いと研修の場として設置され、入浴もできる施設です。

●老人憩の家の利用状況

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
延べ利用者数	16,717 人	17,407 人	10,578 人
1 日平均の利用者数	60.0 人	57.1 人	57.8 人

※各年度末現在（平成 26 年度は 10 月末現在）。

- 指定管理者制度の導入により、サービスの向上に努めています。
- 施設の老朽化が進んでおり、大規模改修が必要な場合は廃止する方向です。

⑤保坂福祉会館松寿園

故保坂民治氏の寄附の趣旨に基づき、高齢者福祉の向上を図るため設置され、高齢者に憩いと研修の場を提供し、老人クラブ活動の拠点施設となっています。

●松寿園の利用状況

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
延べ利用者数	11,716 人	10,899 人	5,183 人
1 日平均の利用者数	38.2 人	35.4 人	28.2 人

※各年度末現在（平成 26 年度は 10 月末現在）。

- 指定管理者制度の導入により、サービスの向上に努めています。

⑥高齢者保養センター（松風荘）

高齢者の低廉で健全な保養の場として設置され、入浴、宿泊もできる施設です。

●高齢者保養センターの利用状況

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
利 用 者 数	3,628 人	2,938 人	1,922 人
日 帰 り	3,304 人	2,760 人	1,743 人
宿 泊	324 人	178 人	179 人

※各年度末現在（平成 26 年度は 10 月末現在）。

○ 高齢者ふれあい交流施設の開設にあわせて廃止します。

⑦能代ふれあいプラザ（サンピノ）及び高齢者友愛センター

能代ふれあいプラザは、在宅福祉の拠点として（老人デイサービスセンター、地域包括支援センター等）、また、中心市街地への定住化の促進（市営住宅）や、世代間交流の促進（保育所・高齢者友愛センター）を目指して建設された複合施設です。

高齢者友愛センターは、高齢者の生きがいと健康づくり活動や高齢者の交流促進等のほか、地域包括支援センターの介護予防事業にも活用されています。

●高齢者友愛センターの利用状況

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
利 用 者 数	8,931 人	8,542 人	4,804 人

※各年度末現在（平成 26 年度は 10 月末現在）。

⑧高齢者ふれあい交流施設

温泉を活用した入浴施設として、平成 27 年度の開設を目指して整備します。二ツ井地域における高齢者の健康づくりやいきがいつくりの拠点として充実を図るほか、まちなか商店街とも連携し、より多くの方々に利用される施設運営に努めていきます。

⑨生活支援ハウス

一人暮らし及び夫婦のみの世帯に対して、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、高齢者が安心して健康で明るい生活を送れるよう支援します。

●生活支援ハウスの利用状況

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
実 人 数	9 人	11 人	10 人
延 べ 人 数	78 人	92 人	54 人

※各年度末現在（平成 26 年度は 10 月末現在）。

⑩高齢者の住環境の変化への対応

民間事業者による有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の整備が進んでいます。これらの整備の動向等を把握し、情報提供に努めます。

●サービス付き高齢者向け住宅のイメージ図



